

企業の大切な パートナー

vol.1

一企業の成功にはビジネスパートナーの存在が大きい。その成功事例とそこに大きく貢献したパートナーを紹介致します。



株式会社サン・スタッフ 代表取締役

神野 詔司 氏

室蘭市生まれ。企画・製作・舞台照明等を手がける同社を1975年に設立

株式会社プリズム 代表取締役

深津 修一 氏

愛知県生まれ。映像表現の無限の可能性を感じ、1996年同社を設立

プロジェクトクションマッピングで 魅せる雪像

札幌の冬の風物詩である雪まつり。今年も新たな試みとして、プロジェクトクションマッピングを実施し、話題を集めた。観客が殺到するあまり、途中で中止になってしまったことは記憶に新しい。

そのプロジェクトクションマッピングを手がけたのは、株式会社プリズム代表取締役の深津修一氏と株式会社サン・スタッフ代表取締役の神野詔司氏。九年来のパートナーというお二人に話を聞いた。

株式会社プリズムは、舞台、イベントなどでの映像提供や最新映像技術を使った空間全体のプロデュースを行う企業。雪まつりのプロジェクトクションマッピングも、それまでの幅広い実施実績から同社が手がけることとなった。

そこで、舞台照明などを手がける株式会社サン・スタッフの神野社長に声を掛け、全体の照明計画を依頼。夜の雪像に投影する映像をより際立たせるために、「(会場を)暗くしてくれ」と深津社長から指示を受け、「照明って明るくするためのものなのに、困りました」と神野社長は笑いながら話す。

このように、深津社長が神野社長を困らせるのは、「いつものこと」とらしい。「神野社長は『できない』と絶対言わ

プロジェクトクションマッピングとは？

プロジェクターを使用して映像を建築物などの立体に投映する技術。2000年ごろから始まっていたが、映像技術の急速な進歩により、新しい映像表現の手法として近年注目を集めている。



今年2月に実施された雪まつりにおけるプロジェクトクションマッピング

ないんですよ。話を持っていくと必ず引き受けてくれる。やりたいことを的確に実現してくれます」(深津社長)。

それに関して神野社長も、「深津社長は僕には絶対考えられないようなことを発想するし、常に先のことが見えているんです」と話す。

札幌をワクワクするようなまちに

こうした強い信頼関係で伝えたいこと、表現したいことを映像と照明で確実に形にしてきた二人。今後のプロジェクトクションマッピングを活用した展開を聞いてみた。

「雪まつりでは、来年もその先もやっていきたいと思っています。でもマンネリ化しないよう飽きさせない工夫が必要。もっと世界を意識した作り方で、シヨールとしての価値のある雪まつりにして

いけば、国内外からもっと人を呼べますよ」(深津社長)。

「雪まつり以外では、例えば、昼間人が集まるけど、夜になると人がいない場所。三六五日マッピングをやっている。それ目当てに夜にも人が来て、そこにお金を落としてくれる。誘客という面では、まだまだインパクトがあるので早くやっておけばそれ自体に価値が出る」と深津社長は観光振興のための活用に向け目を向ける。

神野社長も、「そうそう。狸小路の床面に映像が流れているとかね。札幌というまちの世界観が変わりますよね。札幌って楽しい！って思わせられるような、遊び心のあることがしたいですよ」と同意。二人の札幌を面白くするアイデアは止まらない。

株式会社プリズム

〒060-0031
札幌市中央区北1条東13丁目1-79
TEL 011-252-3838
FAX 011-252-3848
H P www.eizou.com

株式会社サン・スタッフ

〒062-0934
札幌市豊平区平岸4条10丁目5-1
TEL 011-823-5548
FAX 011-832-0280
H P http://www.team-sunstaff.co.jp